

2024年7月12日

各位

日本航空株式会社
ENEOS株式会社**「JAL と ENEOS は SAF 売買に関する契約を締結しました」
～国内での SAF サプライチェーン構築を推進します～**

日本航空株式会社（本社：東京都品川区、以下「JAL」）と ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区、以下「ENEOS」）は、日本における持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の早期社会実装に向け、SAF の売買に関する契約を締結しました。本契約により、ENEOS が国内石油元売として初めて SAF を輸入し、国内外で SAF の調達を進めている JAL へ供給することが実現します。

航空業界では、国際民間航空機関（ICAO）において国際線の航空機による CO₂ 排出量を 2050 年までに実質ゼロとする目標を掲げ、2024 年以降は国際航空分野における排出量を 2019 年比で 15% 削減することを目指しています。航空業界の脱炭素化を加速するためには国産 SAF の普及促進が重要であり、そのための第一歩として両社は国内での SAF サプライチェーン構築を推進する本契約に合意しました。

今後も、JAL と ENEOS は国内における SAF の普及促進を目指し、航空業界の脱炭素化に資する取り組みを共同で進めてまいります。

【JAL の取り組み方針】

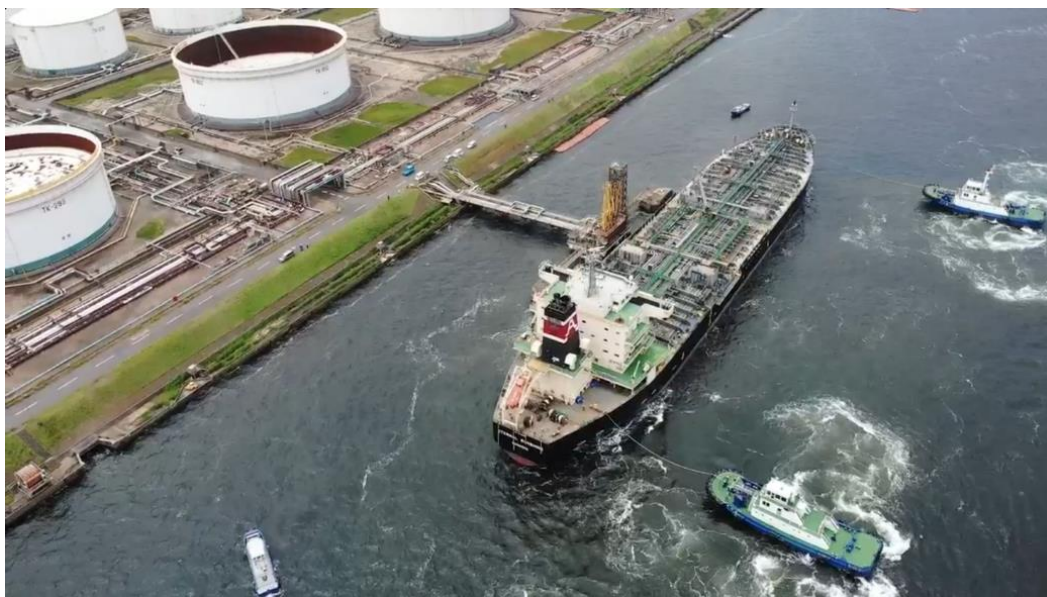
JAL は、脱炭素化に向け省燃費機材への更新に加え、「全燃料搭載量のうち、2025 年度に 1%、2030 年度に 10% を SAF に置き換える」という目標の達成に向けて、国内外において SAF の調達を進めています。また、SAF を活用することにより創出される CO₂ 削減の環境価値を証書化し、JAL 便をご利用の法人のお客さまに提供する「[JAL Corporate SAF Program](#)」を通じて SAF の環境価値の認識拡大に努めてまいります。



【ENEOSの取り組み方針】

ENEOSは、グループの長期ビジョンにおいて、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦することを掲げています。その一環として、SAFの原料調達から自社製造および販売に至るまでの一貫体制の構築を進めています。

なお、ENEOSは和歌山製造所にてSAF製造の検討を進めています。



ENEOS鹿島製油所にSAF輸入船が着棧する様子

以上